

発行/モザイク会誌 編集 森野美

モザイク会誌事務局：〒185-0012 東京都国分寺市本町4-12-4 既アートシティ104

モザイク会誌ホームページ：http://www.maa-jp.com/ Email:maaaj@maa-jp.com

編集/作成：モザイク会誌運営委員会

オリエ展のテーマ決定

「あれこれ試しました」

一般的なモザイクの素材、石、タイル、ガラスなど以外の素材を使った作品に挑戦してみよう！！という提案です。

普段モザイクには使わないものを使ったらどういう作品ができるのか、

という試みをしてみましょう。

普段の技法を異なる素材に応用したらどうなるのでしょうか。

あるいは普段の技法は全く役に立たなくなるかもしれません。

あるいは今までとは違うテーマが見えてくるかもしれません。

そういう遊びと実験の機会になってほしいという願いからこういうテーマにしました。

ガラスには、ズマルトやスタンドグラス用の板ガラス、ビー玉やアクセサリー、

瓶などいろいろあります。石にも大理石以外に河原の玉石や山で掘り出した石、

そのほか様々なものがあります。タイルの中には、陶磁器ということで、茶わんとか

お皿とか含まれるでしょう。どれを使ったらいけないのか、迷うこともあるでしょう。

でもそこは、あまり厳密に考えないようにしましょう。混ぜてもいいです。

ポイントは「普段自分が使わない」ものが大部分ということです。

あるいはモザイクの素材として考えたこともないもの。そういうものを使ってみましょう。

審査するわけではないので、各自が自分で解釈して、自分のために作ってください。

但し、ひとつだけ禁止事項があります。

会場やほかの作品に迷惑をかける素材は

受け入れません。

マチルダのワークショップ

前号で述べたように、ポーランドのモザイク作家、マチルダ・トラセウスカが1月下旬に来日します。

それに合わせて、多治見と東京でワークショップを開きます。

テーマは「絵画とモザイク」です。

マチルダは絵画とモザイクを組み合わせた作品を作っています。

絵画は絵の具という素材感の乏しい素材を用いるので、素材感の強いモザイクと組み合わせるのは意外に難しいのです。多くのモザイク作家が試していますが、失敗することも多く、ちょっとしたコツが必要で、

参加者募集中

多治見ワークショップは1月25、26日（土、日）です。

アクリル絵の具またはプレスコ画とタイルの組み合わせを体験できます。
モザイクタイルミュージアムで開催されるモザイク選抜展も始まります。

同分舎ワークショップは2月1、2日（土、日）です。

残り一人です。プレスコとモザイクを組み合わせます。



「世界のモザイク・今」

多治見市モザイクタイルミュージアム

1月25日から5月10日まで
開かれます。

あざみ野展の受賞作、海外招待作品
参考作品が並びます。

モザイクタイルミュージアム自体が
新鮮で楽しい建物です。

今後モザイク会議とこのミュージアム
との共同作業も増やしていきたいと
考えています。

タイルや陶磁器の果として、美術館や
観光スポットもいろいろあります。

この機会に多治見来訪もお勧めです。